



第251地区 函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

校である函館遺愛高等学校の川口先生と出席して参りました。

交換学生は、1月18日(日曜日)午後3時函館に到着致します。空港には私、会長と幹事、それに佐々木椎名、三沢洋大両会員が出迎える予定です。

交換学生につきましては、例年ですと札幌にて2週間程度、交換学生のための日本語等の研修会を開催しておりましたが、今年はそれぞれの学生がオーストラリアで、日本語の研修を4週間程受けて来ておりますので、取りやめることになりました。函館到着後早速、佐々木会員宅に御世話になることとなりますが、交換学生につきましては、北クラブ会員の皆様の御協力を御願い致します。

1981～1982年度の役員が決定しましたので御知らせ致します。

会 長	岩 塚 陽 一	
副 会 長	佐々木 椎 名	
"	成 沢 善次郎	
理 事	佐々木 椎 名	クラブ奉仕担当委員長
"	川 村 邦 雄	職業奉仕担当委員長
"	田 中 幸 一	社会奉仕担当委員長
"	成 沢 善次郎	国際奉仕担当委員長
"	西 巻 秀 樹	青少年担当委員長
"	俣 野 純 夫	
幹 事	松 橋 博	
副 幹 事	酒 井 正 勝	
"	中 里 昇	
S A A	市 川 芳 夫	
副 S A A	安 藤 勝 見	大 島 勝 彦 小 林 弘
会 計	重 本 忠	

●出席報告

会 員 数	67名	出	函 館 北 (1 / 7)	95.52%
出 席	50名		函 館 東 (12 / 23)	94.44%
欠 席	17名	席	函 館 (12 / 25)	93.97%
他クラブ出席	14名		函館五稜郭 (12 / 26)	100.00%
出席合計	64名	率	亀 田 (12 / 22)	90.67%
出席除外者	0名			

次回例会日 1 月 28 日

プログラム “ 獲る漁業から育てる漁業について ”
渡島支庁経済部長 内海 威彦氏

TAKE TIME TO SERVE
時間を捧げよう 奉仕のために
(R.I. 会長 ロルフ J. クレーリッヒ)

第 835 回 例 会

1980～1981 第31号 1981・1・28



深瀬 鴻一郎 会員

例会日 毎週水曜日 12:30～13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話 (0138) 23-3870

本日のプログラム
“ 獲る漁業から育てる漁業について ”
渡島支庁経済部長 内海 威彦氏

第 834 回 例会 記録

- 司 会 角谷 隆一 会長
- 斉 唱 それでこそロータリー
- ピジター 函館R.C. 橋本 与雄君 函館東R.C. 島田 栄一君他2名
五稜郭R.C. 村井 邦夫君他1名 亀田R.C. 新井 友広君
- ゲ ス ト 函館大学教授 神田 弘氏、エリザベス・アン・リドベータさん(交換学生)、佐々木チャヤさん(ホストファミリー佐々木椎名会員のお嬢さん)

●会長報告 角谷 隆一 会長

ロータクトのフィリピン研修旅行の件ですが、ロータリアンの参加協力をお願い致します。旅行日は3月3日(火)から3月8日(日)迄です。旅費金額 ¥149,000です。よろしく。

●幹事報告 松橋 博 副幹事

第273地区、宮崎県の地区大会が、3月13日(金)から3月15日(日)迄開かれます。申込の方は幹事迄、親睦委員会のクリスマス・パーティーの写真が出来上がりました。皆様にお返し致します。

●親睦活動委員会 加進 裕 会員

ニコニコBOX投入のお知らせ

中川 会員……中古車情報2月号発刊
高橋 会員……新年例会欠席のお詫び
山内 会員……BOXに協力致します。
山内 会員……奨学金として
西巻 会員……BOXに協力致します。
古川谷会員……BOXに協力致します。
鈴木 会員……新年例会欠席のお詫び
小林 会員……結婚祝ありがとう。
安藤 会員……本年もよろしく、年末年始欠席のお詫び
佐々木会員……ホームクラブ欠席がちのお詫び

●卓話 “テクノポリスのすすめ” 函館大学教授 神田 弘氏

電子、機械などの先端技術産業を中核とした産業区域と、工科大、研究所、図書館などの学術区域、潤いのある居住区域が組み合わさった都市をテクノポリ

ス(技術集積都市)という。通産省は既に第1次建設構想研究会で、テクノポリスの基本的性格や地理的条件、内部構成などについて基礎的報告書をまとめている。工業団地を建設、企業誘致を図るというこれまでの地方都市開発が曲り角にきている折、新型の地域振興策として自治体の間で評判となり、激しい誘致合戦が繰り広げられている。

先頃「田園都市国家構想」が発表され、都市に田園のゆとりを、田園に都市の活力をもたらし、両者の活発で安定した交流を促し、地域社会と世界を結ぶ、自由で、平和な、開かれた社会、そうした国づくりの計画が進められてきた。

これに対して、テクノポリスは21世紀に目を向けた国づくりの視点を技術立国に求めたものである。

国づくりの方向も技術の流れに沿ったものが期待される。テクノポリスは、21世紀を目指す技術と文化に根ざす「まち」づくりなのである。資源多消費型、大規模集中型の技術構造は、いまや変革を迫られている。今後の戦略的技術分野は、省資源、省エネルギー的で、高度化、多様化、分散化を特徴とするものでなければならぬものと考えられる。超精密機械や超LSIをはじめ、コンピューター、ソフトウェアやエンジニアリング・ノウハウなどの先端技術、所謂ファイン・テクノロジー型の産業はクリーンであり、その立地にはクリーンな環境が不可欠である。田園都市圏が活力にあふれ、自立していくための産業基盤強化の一つの方向は、このファイン・テクノロジーにはかならない。産・学・住の一体化したまち母都市と連携するテクノポリス、「潤い」のあるまちテクノポリス、生涯教育の新時代を迎えるに当たっては、現行の大学誘致運動は一考を要するものと考えられる。

テクノポリスは頭脳集約や情報集約の拠点であり、産業と学術研究の、生産と人の生活の、都市と田園の、そして人間と自然と科学技術の結節点であり、それぞれの調和を希求する都市づくりである。青森市も強力なチームワークをもって動き出したようである。函館圏(広義)も今年こそ受け入れ態勢作りに万全を期待するものである。私はこのほど中堅経済人グループを中心に南北海道テクノポ

リス協議会を発足させて、テクノポリスの核となる先端技術産業の地方立地の条件を推進することにした。

★クラブ奉仕について

「クラブ奉仕のかなめとなるのはコミュニケーションであります。話をするとか、手紙を書くとかといったようなコミュニケーションがなければ、『知り合い』はできません。クラブや地区では真実にあふれた笑顔や暖かい握手でもって話し合うことができます。国境や海を越える場合は、手紙を書いて、それが非常な速さで遠く地球の隅々にまで飛んでいく、ということになりましょう。しかし、ロータリーは、あらゆる種類のコミュニケーションが、全員の関心を喚起し、十分な知識、情報を伝え、クラブの士気を盛り上げ、さらに、『超我の奉仕』のために最大のエネルギーを生み出すように活用されているところで、最も栄えるのであります」。

— 奉仕の冒険

●出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北 (1/16)	97.01%
出 席	32名		函 館 東 (1/6)	93.33%
欠 席	35名		函 館 (1/8)	95.76%
他クラブ出席	33名		函館五稜郭 (1/9)	100.00%
出席合計	65名		亀 田 (1/5)	76.32%
出席除外者	0名			

次回例会日 2月4日

プログラム “ 高等学校教育について ”
渡島教育局長 米林 丈夫氏



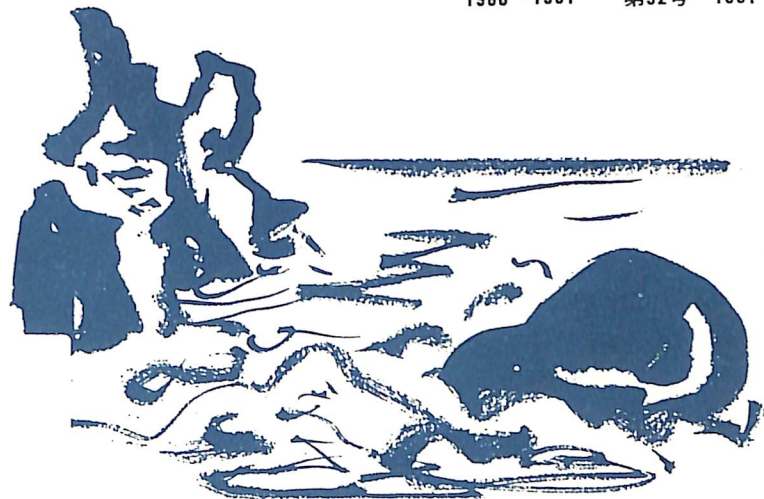
第251地区 函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

TAKE TIME TO SERVE
時間を捧げよう 奉仕のために
(R.I.会長 ロルフJ. クレーリッヒ)

第836回例会

1980-1981 第32号 1981・2・4



深瀬 鴻一郎 会員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話 (0138) 23-3870

本日のプログラム
“ 高等学校教育について ”
渡島教育局長 米村 丈夫氏

第835回例会記録

- 司 会 角谷 隆一 会長
- 齊 唱 我等の生業
- ビジター 東京日本橋 R.C. 本沢 忠男君 函館 R.C. 新谷 厚三君他
2名 函館東 R.C. 鉢村 淳君 五稜郭 R.C. 外村 一也
君他 1名 亀田 R.C. 石塚与喜雄君
- ゲ ス ト 渡島支庁経済部長 内海 威彦氏